

# 地震計基礎設置図

NO 1 (注)瀬谷消防署と同様のタイプ  
大黒町 消防出張所

改良土:

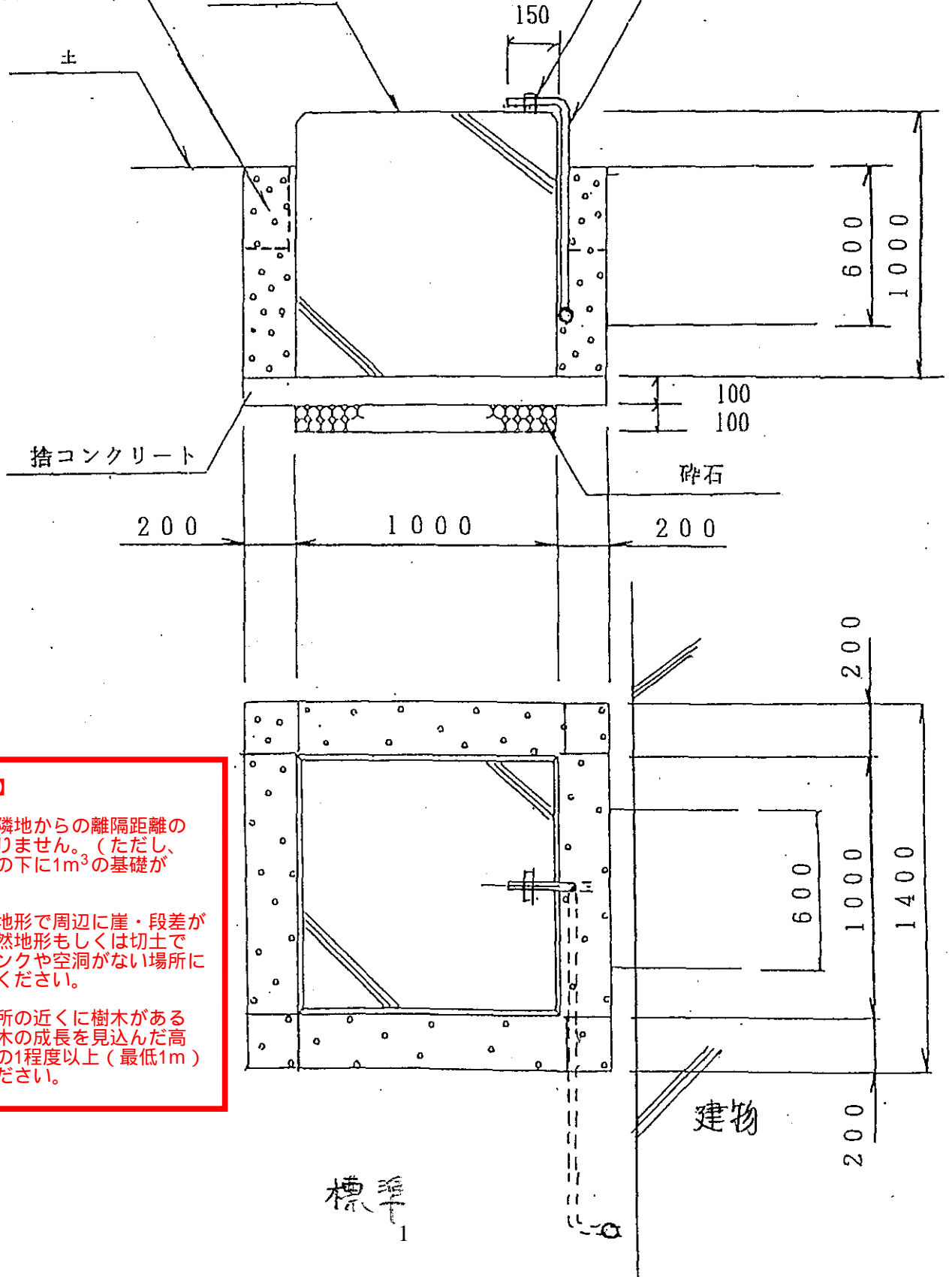
良質の砂1m<sup>3</sup>当り100kgの  
セメントを混入したものを投入。

地震計基礎:

面だしを行い、水平1°以内とする。  
コンクリート  $\sigma_{c,1} = 160 \text{ kg/cm}^2$ 。

止め金: グクターにグクタークリップ止め

配管: 波付硬質ポリエチレン管30mm  
(エフレックス)



## 【注意事項】

道路や隣地からの離隔距離の規定はありません。(ただし、センサーの下に1m<sup>3</sup>の基礎が必要)

平坦な地形で周辺に崖・段差がなく、自然地形もしくは切土で地価にタンクや空洞がない場所に設置してください。

設置場所の近くに樹木がある場合、樹木の成長を見込んだ高さの10分の1程度以上(最低1m)離してください。